

L2大気全球プロダクトの画像化

G-Portalから提供している下記GCOM-C/SGLIプロダクトについて、
G-Portal「ツール・ドキュメント」からダウンロードできる
HDFViewツールを用いた画像化について説明します。

衛星・センサ : GCOM-C/SGLI

処理レベル : LEVEL2

プロダクト : 大気圏全球

G-Portal検索条件: L2全球-大気上端放射輝度(晴天)

L2全球-大気上端放射輝度

L2全球-雲フラグ

L2全球-雲種別雲量 等

L2全球-エアロゾル(近紫外)

L2全球-エアロゾル(偏光)

対象は、プロダクトファイル名の○印が「A」を対象とします。

ファイル名例 : GC1SG1_20191210D01D○A0000_L2SG_LCLRF_1002.h5

Mapping : EQualarea(EQA)(mapped)

1. HDF Viewの起動

デスクトップの「HDF View」ショートカットアイコンのダブルクリック
またはアプリケーションメニューから「HDF View」を選択し、
右側の初期画面を起動します。

2. プロダクト読み込み

2-①～2-④の順番で、プロダクトを読み込みます。
正常に読み込めると、図2-3のように表示されます。

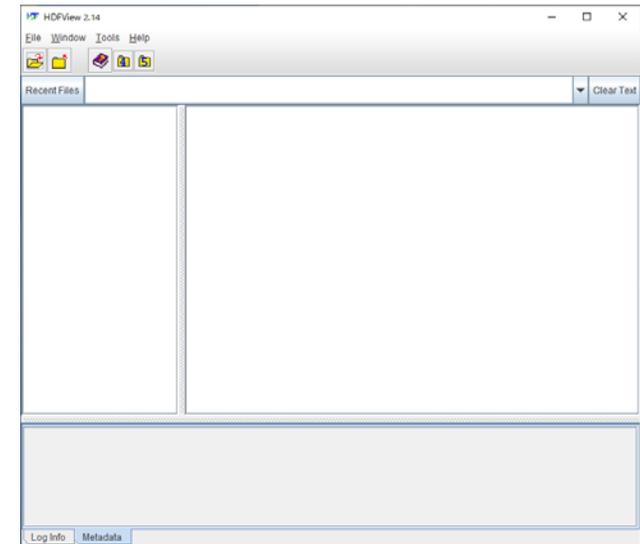


図1 HDF View初期画面

2-①
「Open Read-Only」を選択
します。



図2-1 メニュー選択

2-②
GCOM-C/SGLIプロダクトの
保存場所を指定します。

2-③
GCOM-C/SGLIプロダクトを
指定します。

2-④
「開く」ボタンを押下します。

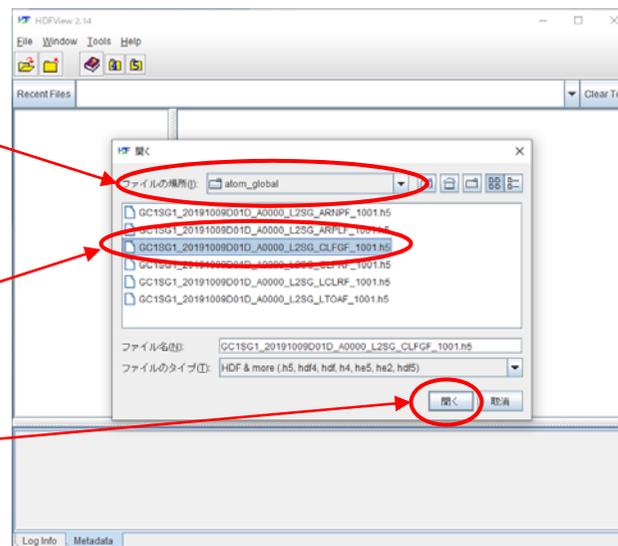


図2-2 プロダクト選択

読み込みが成功すると、左側にディレクトリが表示されます。

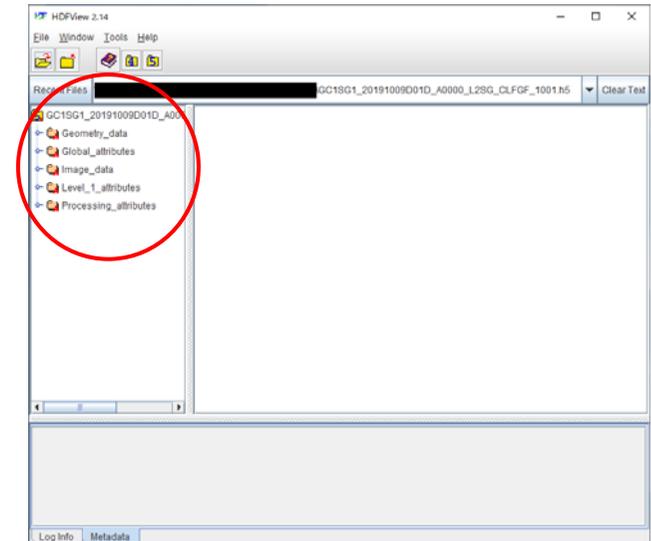


図2-3 プロダクト読み込み後

3. 画像化画面表示

3-①～3-②の順番で、画像化対象データセットの画面を表示します。

3-①
「Image_data」左側「○-」をクリックし、データセットを表示します。

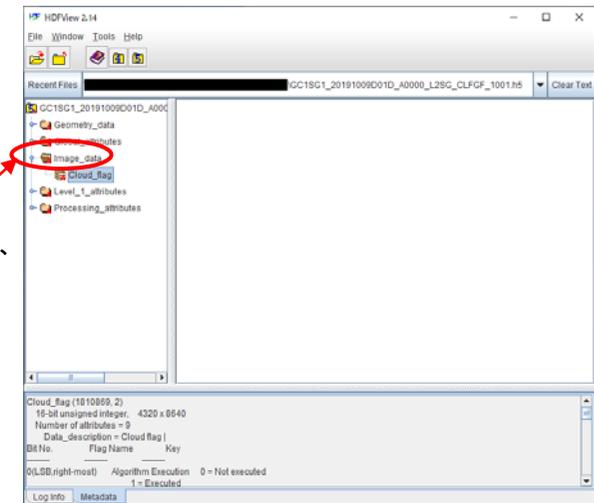


図3-1 データセット選択

3-②
画像化するデータセットを選択し、右クリックで「Open As」を選択します。

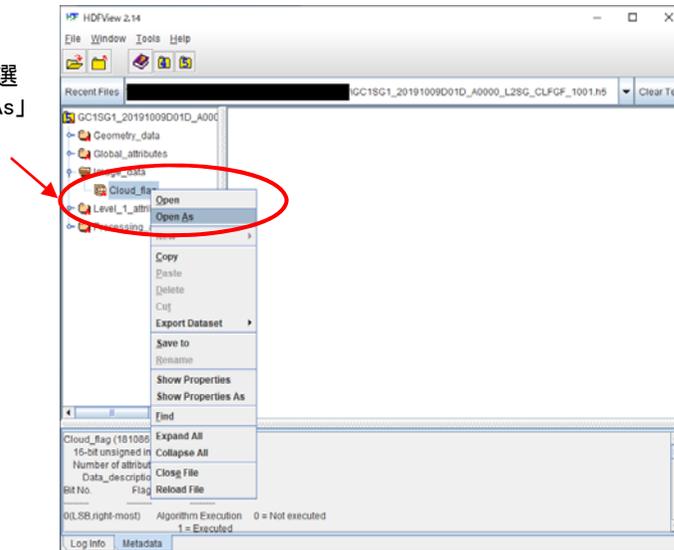


図3-2 画像化メニュー選択

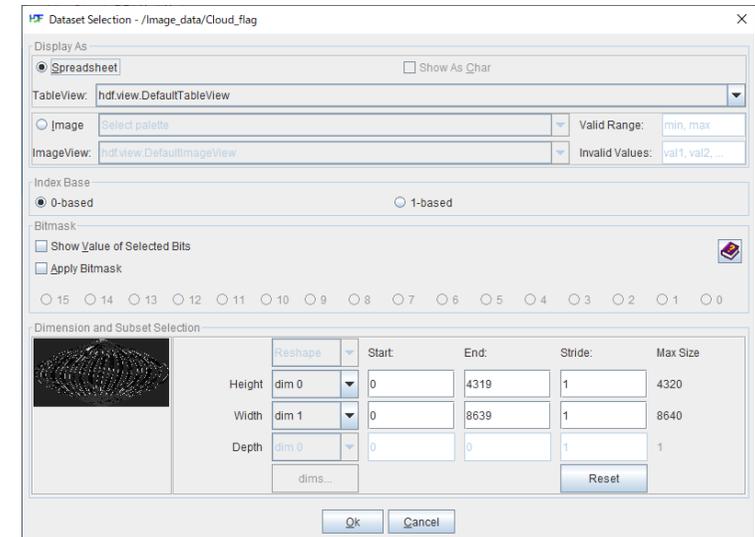


図3-3 Dataset selection画面

4. 画像表示

4-①～4-⑥の順番で、対象データセットの画像を表示します。

4-①
「Image」ボタンを選択します。

4-②
「Select palette▼」を押下します。
ここでは、「Default」を選択します。

4-③
「OK」ボタンを押下します。

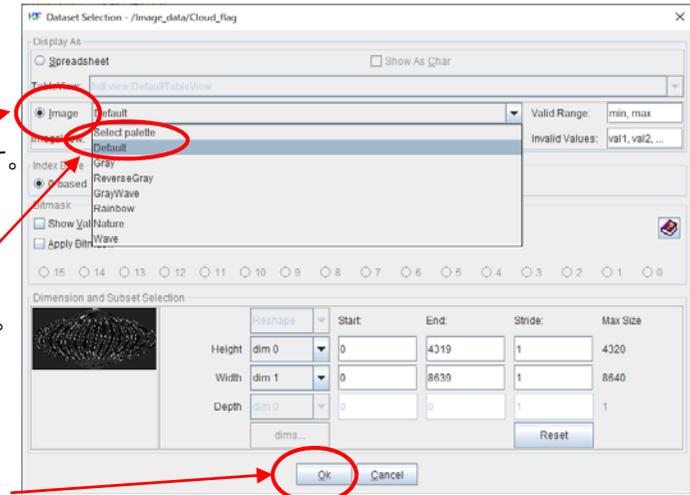
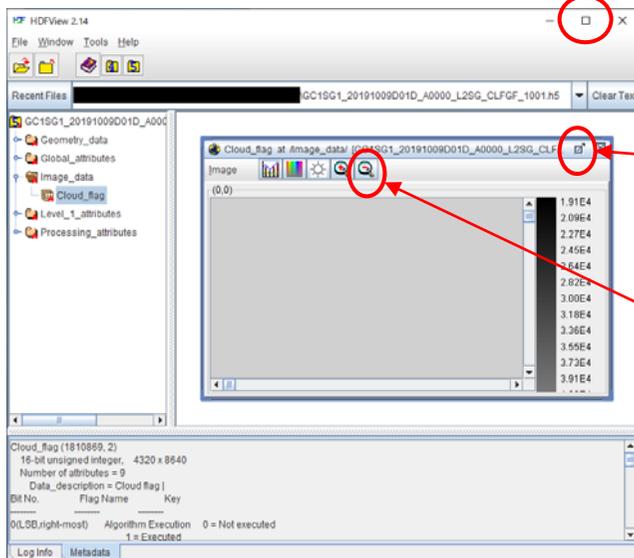


図4—1 画像化パラメータ選択

4-④
拡大ボタンを押下します。



4-⑤
拡大ボタンを押下します。

4-⑥
全体が見えるまでマイナス
ボタンを押下します。

図4—2 画像化後画面

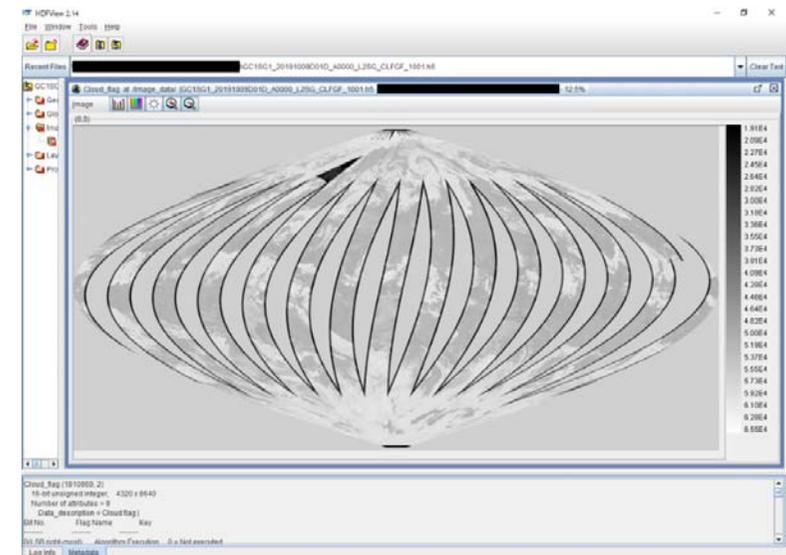


図4—3 画像化後画面(全体表示)

5. 画像の保存

5-①～5-④の順番で、表示画像の保存を行えます。

5-①
保存形式を選択します。
•JPEG
•PNG
•GIF
•BMP

Image > Save Image As

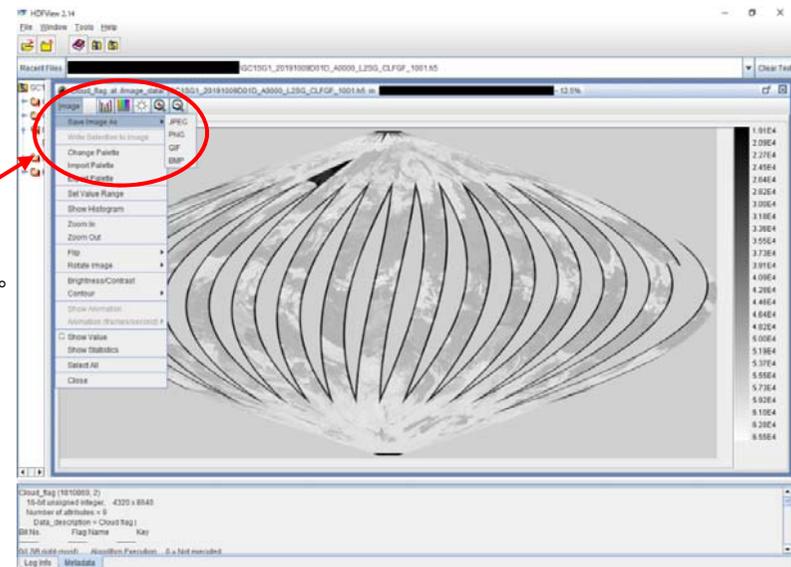


図5—1 画像の保存

5-②
保存先を指定します。

5-③
保存ファイル名を入力します。

5-④
「保存」ボタンを押下します。

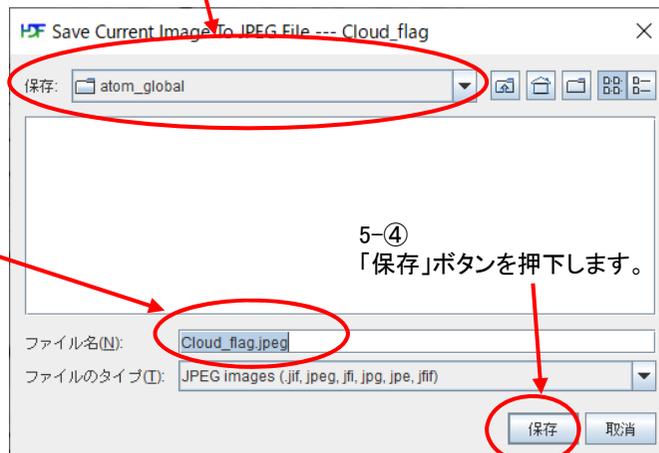


図5—2 保存ファイル名入力

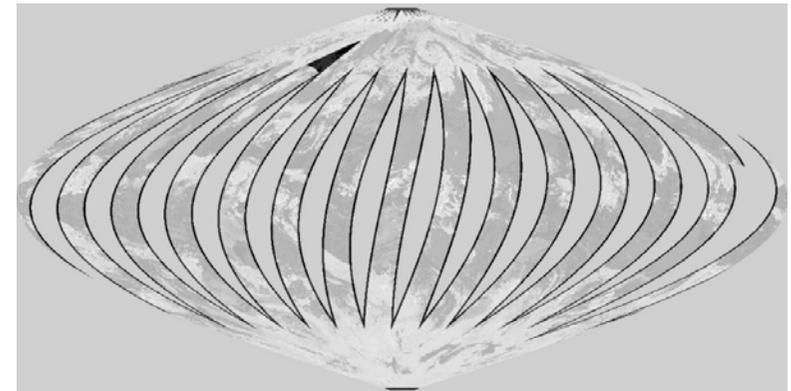


図5—3 画像表示ツールで表示した結果